

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 佐用町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.29	100.00	4,087

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,166	307.44	49.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域人口密度(人/km ²)
1,387	0.66	2,101.52

グラフ凡例

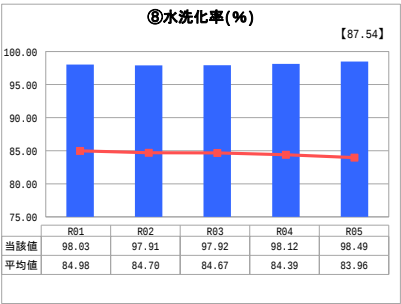
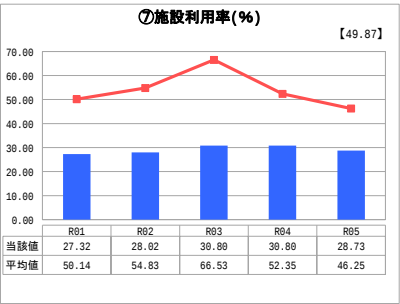
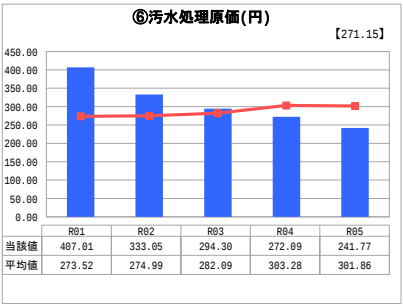
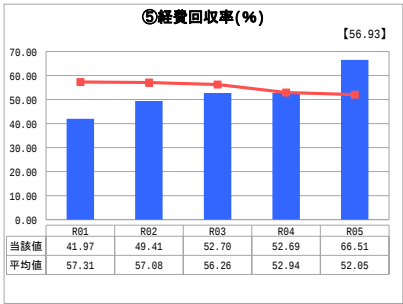
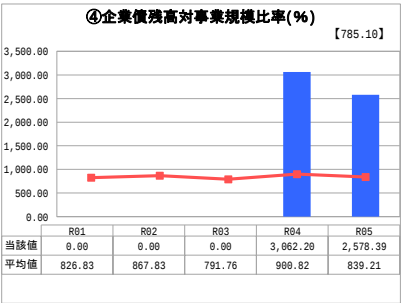
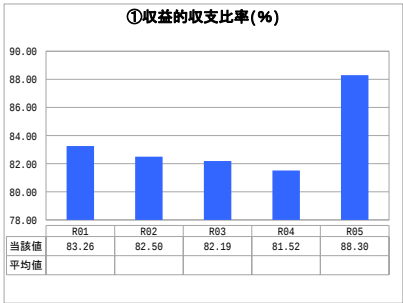
- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、公営企業会計移行に伴う打ち切り決算により費用が減少し、前年に比べ増加しているが、使用料以外の収入は一般会計からの繰入による部分が大きいいため更なる維持管理費の節減、使用料の見直しが必要がある。
④企業債残高対象事業規模比率は地方債現在高が減少しているため、前年に比べて減少している。
⑤経費回収率は①と同様に前年に比べ増加している。今後も接続人口が減少することが予測されるため、使用料の改定などを視野に入れた計画策定が必要である。
⑥汚水処理原価は前年度に比べ減少している。
⑦施設利用率は人口減による影響で前年に比べ減少して、全国平均値及び類似団体平均値をかなり下回っていることから更新時の施設規模の見直しが必要である。
⑧水洗化率は高い水準であり、今後も引き続き水洗化推進を図る。

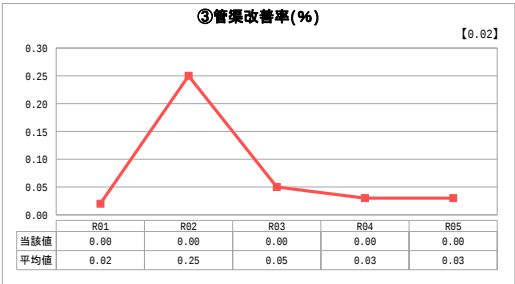
1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は更新投資に数値無であるが、事業統合及び長寿命化計画により必要な管渠の更新を実施中である。

2. 老朽化の状況



全体総括

山間地という不利な立地条件のため、住居が点在しており維持管理に係るコストが、都市部など人口密度が高い地域に比べ割高になるのが避けられない状況であり、一般会計からの補填により事業を維持せざるをえない。
人口減少による料金収入の減少、老朽化による更新の必要性から一部区域を特環下水に統合し、効率的な施設の維持管理の取り組みを開始し、長寿命化を計画的に実施する。
今後も経営戦略に基づき、長期的な視野のもとで効率的な経営に取り組み、経営改善に努める。
また、令和6年度から企業会計に移行することから抜本的に事業運営を見直していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。